

地域シンポジウム報告書（概要）

龍神地域シンポジウム	
日時	8月5日(日)午後1時30分～4時
場所	龍神市民センター
参加者	市民 54名 講師:堀内 秀雄 教授 オブザーバー参加:和歌山大学客員教授 松岡 伸也氏 わかやまNPOセンター事務局長 西川 一弘氏
	事務局: 山本龍神教育事務所長、寒川主任、野下主査、雨積主事、水田 亀井分館長(龍神)、寒川分館長(宮代)、古久保分館長(殿原) 奥野分館長(東西)、後藤分館長(福井)、西川分館長(甲斐ノ川) 生涯学習課～藤若課長、小川係長、三栖係長、松下主査、瀬戸主査
テーマ	地域のことを話し合おう

シンポジウム進行次第

	内容
	開会あいさつ 龍神地域シンポジウム実行委員会 委員長 山本 巖
	ミニ講演 「いま、なぜ生涯学習計画なのか」 講師:和歌山大学生涯学習教育研究センター 堀内教授
	ワークショップ テーマ:「地域課題・公民館の課題について」 「地域の特色・自慢について」 「解決策・提案について」 個人ワーク グループ討議 個人ワーク 意見交換と集約 報告 まとめ
	閉会あいさつ 龍神地域シンポジウム実行委員会 副委員長 久保 正博

龍神地域シンポジウム

日時 H.19.8.5
場所 龍神市民センター



地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
A班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が少ない。 ・高齢者が多い。 ・高齢化。 ・嫁不足。 ・児童生徒数が減少している。 ・どんどん子供たちが少なくなり、元気な声が聞かれなくなってきた。 ・連帯意識が高いが、日常生活でのつきあいが少なくなった。 ・近所づきあいが少なくなってきている。 ・遊び場がない。 ・働く場所が必要。 ・公共施設等のポット植えの花などみんなで管理できる方法は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館分館の活動がみえにくい。 ・分館が少なくなった。 ・校区に2つの公民館分館がある。 ・用事以外で立ち寄りない。 ・お金の心配。 ・若者の参加が少ない。 ・合併前の6つの分館が一つになって、連携が困難。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがい対策を検討する。 ・高齢者には特に気配り。 ・地域を生かした活動。 ・一声運動。 ・龍神村の良さを発信する。 ・通勤可能なように道路を整備する。 ・若者の出会いの場を作る。 ・若者の参加・協力。 ・ふれあいの場を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動補助金を予算化してもらう。 ・活動に何らかの補助をつける。 ・公民館の活動を知らせる。 ・ボトムアップの活動ができるよう働きかける。
地域の特色・自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・中心地で人の出入りが多いが、知らない人が多くなった。 ・集まりがよい。 ・助け合いの心がある。 ・皆んな仲が良い。 ・美化意識が高い。毎月の缶拾い等。 ・児童の安全を守る取組。 ・豊かなる自然。 ・自然が美しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物としてはどこにも負けなし。立派である。 ・社会活動ができる環境が多い。 ・地域の文化祭。(宮代文化祭) ・盆踊り。 ・高齢者学級。 ・学校との連携組織の中に入っている。 ・会議室、運動場等設備が良い。

地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
B班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が少ない。 ・若い人が少なくなった。 ・少子高齢化。 ・高齢者が目立つ。 ・合併の是非は？ ・自然破壊。 ・自然が失われつつある。 ・自然環境の回復。 ・近所づきあいが疎遠。 ・医療不安。 ・交通が不便。 ・生活が中小企業所の活動や観光で支えられている。 ・過疎化による山村の文化の荒廃。 ・救急医療面。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への発信を積極的に。 ・広報に工夫を。 ・活動が見え難い時もある 主導性の問題？ ・職員数が少なく、1人何役もこなす多忙である。 ・文化活動にもっと予算を組んでほしい。 ・会場使用料を安くしてほしい。 ・設備が有効に活用されていない。(普段) ・教室や講座が少なく、参加も少ない。 ・環境問題等の現代社会の課題に関する学習会が少ない。 ・利用する人が限られている。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の荒廃をくい止める方策を官民一体となって考え行動する。 ・みんなで学習することの習慣化。 ・ごみや環境問題について村民が学習し知る機会を作る。 ・若者の意見を重視する。 ・地場産業の活性化。 ・公害を出さない企業の誘致は若者の就職場となる。 ・自然を保持し産物の増産を目指す。 ・昔の生活様式を生かす。 ・自然を大切に生かしたライフスタイルを取り戻し作り出す。 ・地域に根ざした生活の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館統合しないようにする。 ・職員と予算を増やす。 ・分館活動の工夫・充実を。 ・魅力ある講座の開設と講師の招聘。 ・教室や講座など学習する機会を増やす。
地域の特色・自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が美しく豊か。 ・山が広い。 ・自然の幸が採れる。 ・ホタルの群舞等の自然美。 ・空気がきれい。 ・団結力がある。 ・まとまり。 ・地域の人々が共に助けあって暮らしている。 ・人情豊か。 ・安心安全な人間関係。 ・村外から移り住む人が増え地域にとけ込み活気が出てきている。 ・創造的で活気がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が親切である。 ・気安く話せる。 ・分館活動に特性ある。 ・村民文化祭が村民の自主性で長年開催され続けている。 ・多くのスポーツ競技の開催や参加。 ・公民館結婚式！万歳！！ ・有名講師の講演が以前よくあった。今後も期待。

地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
C班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家。 ・高齢化。 ・若者不足。 ・各種会議があってもメンバーが同じ。 ・偏り。 ・お嫁さん対策。 ・若い人の就職先が少なく、帰って来たくても中々来れない。 ・人の住んでいない家がたくさんある。 ・先細り。 ・山、川等 自然の保護。 ・温暖化の影響。 ・鮎の冷水病。 ・ごみ問題。(不法投棄、鮎釣り客のごみ) ・林業、森林。 ・森林対策。 ・住民の意識の改革。 ・子供にとって怖いおじさん・おばさん。 ・来たるべく大地震への対応。 ・自分たちの地域を自分達で考え動くという意識が薄い。 ・市町村合併後、2年経ってその弊害がみえてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金。 ・行事が少ない。 ・公民館活動が認知されていない。 ・参加住民に限られている。 ・分館活動に温度差がある。 ・職員が忙しすぎる。 ・分館長の仕事が多い。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の働く場所。 ・仕事場を増やす。 ・仕事。 ・一人一人やる気を持つ。 ・とにかく悲観せず頑張る。 ・観光産業を育てる。 ・豊かさとお金は違う。 ・田辺市民の意識で行政を変える。 ・県や国を頼らない。 ・住民へ知らせるところから始める。 ・地域の誇りをもっと探す。 ・地域における人間「生き字引」をどんどん活用していく。 ・まとめて活動することで地域を変える力が大きいという意識を一人ひとりが持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のためのお金が必要。 ・公民館活動への補助金。 ・住民参加の公民館運営体制づくり。 ・公民館への職員の加配。
地域の特色・自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い。協力。 ・協力。 ・まとまり。 ・いざという時まとまる。 ・元気なお年寄り。 ・人が温かい。 ・困っている人への支援が良い。 ・地域の絆。 ・運動会。 ・祭りがある。 ・移住者が多い。 ・食料の自給ができる。(可能性) ・まだまだ自然が豊か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動。 ・盆踊り。 ・サークル活動が活発。 ・地域活動への協力。 ・公民館活動を通じて色々な世代の人たちと関わられる。 ・青年～中年の参加が多い。 ・多くの村民が利用している。 ・職員の自発性。 ・ソフトボール。 ・村民文化祭の開催。

地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
D班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活がしにくい。(税金が 医療費が) ・合併のデメリットが出ている。(施設が有料、行政サービスの低下) ・夜の街灯。 ・清掃業者が少ない。 ・留守宅の周辺。 ・近所同士の日常会話が少なくなった。 ・子供の遊び場。 ・若い人からお年寄りまで体力づくりをする温泉プール等設置してほしい。 ・鮎釣りができない。 ・自然を守る。 ・ふるさとを守る。 ・学校の跡地の問題。 ・廃校施設の利用。 ・スポーツ会場の使用料を合併前の基準に。 ・働く場所がない。(仕事がない) ・働く人が少ない。 ・病院が遠い。 ・子供が少ない。高齢化。 ・少子化。 ・高齢化。 ・高齢者の移動の問題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数が少ない。 ・施設の無料化。 ・集会等で使用する部屋を無料で貸してほしい。 ・分館施設の有効利用。 ・悪徳商法防止などの情報をいっぱい流してほしい。 ・住民の要求を真剣に受け止めてほしい。 ・分館活動の充実。(計画と実施) ・各活動に対する指導者の育成。 ・地域でのビーチボールバレーの復活。 ・高齢者のゲートボール参加者が少ない。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・Uターン者リターン者を増やす。 ・都会の人は自然や健康を求めている。それに応じていくと村は栄える。 ・土地の産物を生かして特産品をつくる。(若い人の働く場所ができる) ・コミュニティバスの運行。 ・特産物の見直しと販売所を。 ・現場の視察。 ・学校などの跡地を違う施設に。 ・公共施設利用プロジェクトチームを組織して案を出してもらおう。 ・公共宿泊施設を作って小中高大一般のスポーツ関係の利用。 ・小中高時代から地域活動に参画。 ・リーダーの育成。 ・リーダーの指導力。 ・龍神村の大自然を守る。 ・温泉プールを作る。 ・農地を生かして野菜作りをし、町の人たちにお届けしたい。お年寄りの生きがいにもなる。 ・高齢者の仕事。 ・企業誘致。 ・地場産業の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館に臨時職員を1名配置。 ・盆踊り参加 イベントに参加。 ・地域住民による活動計画の作成。自分たちにあった内容の活動。(学習内容による) ・幅広い世代への会員募集に努める。 ・職員数の増員。

<p>地域の特色 自慢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や空き畑等を行政が把握してほしい。 (町の人が田舎暮らしをしたいと思っている) ・空いた田畑を有効に利用して有機栽培を広げ龍神全体を有機の村にしたい。 ・川・山・空気が美しい。 ・自然を大切に。 ・深い緑、清らかな川の流れ、大自然の村は誇りである。 ・温泉、山、川、寺、自然。 ・考えてみれば自然を生かせば龍神は宝の山のようなうた。 ・土地があり、その気になれば自給自足の生活も可能である ・田舎暮らし。 ・老人クラブで診療所、保育園の清掃。 ・近所の人たちとのつながり。 ・楽しい面白いうれしいといった感動できる活動ができている。 ・老人と若者の仲がよい。 ・敬老の日に地域でカラオケを行い好評。 ・子供たちが、朝夕のあいさつが出来て、他の人からほめてもらっている。 ・すばらしい公共施設。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流できる。 ・地域と公民館職員が楽しく話ができている。 ・行政局の人たちと合同で川や河原の整理等を年一回続けている。(西地域) ・7つの分館があり、それぞれに分館長が配置されている。 ・各グループ集会所を利用している。 ・出入りが自由な公民館である。 ・スポーツ等の用具や施設が整っている。
---------------------	---	--

地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
E班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・産業等若い人の働ける所が少ない。 ・空き家が増えてきている。 ・一人暮らしの高齢者が増えてきている。 ・老化してしまったらどうする？ ・高齢者多く、これからの祭り等イベントが10～20年後心配である。 ・福祉にもう少し温かい目を、行政さん！！ ・公共事業の減少により、土木等の事業所の人員削減等、村外への人口流出が多い。 ・若い人が少ないので、子供の数も少ない。 ・人口減少による地域活力、活動の減退。 ・猿、鹿、猪の害が多い。 ・人口が少ないので何でも参加しなくてはならない。 ・行政局の辺りがさびれてしまった。 ・交通機関の不備。(バス・タクシーなど) ・交通が不便。(田辺市内へバスで行けない) ・交通機関の不便さ。 ・何かのイベントに参加するのに昔みたいにバスを出してくれない。 ・学校統廃合によるその地域のさびしさ。 ・間もなく殿原小学校が廃校となる。 ・子供が生まれたが同級生がいらない！心配である。 ・携帯電話電波が届かない、不感地帯が多くある。 ・ガソリン高騰でも買い物は旧田辺市内へ。 ・観光ポイントが少ない。(温泉だけしかない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館長は何かと頑張っているがよく分からない。 ・分館と地域との動きがともなわない。 ・各種行事計画の早期通知。 ・全員参加できる計画を！ ・三ツ又地域も殿原・丹生川の中に入れたら良いと思う。 ・丹生ノ川地域の参加が少ない。 ・有線放送の活用をもっとしてほしい。(手続きが難しい) ・分館の構成を再構築。 ・公民館のことがよく分からない。 ・公民館結婚式が少ない。 ・情報量が少ない、遅い。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域審議会の最重要課題を地域も協力を。 ・廃校の再利用。食料の備蓄。 ・光ファイバーにより解消されていく。 ・龍神村の地名の特色を出す。 ・福祉バス、タクシー、コミュニティバスにて解消される。 ・土地土地での連携あれば、色々な地域の観光スポットある。 ・有害駆除を積極的にしていく。 ・猟期延長！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化になる時に、今の放送施設を残して自由に使えるように。 ・分館単位で情報交換。
地域の特色・自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・人情味にあふれている地域。 ・隣近所の人を知っている。 ・大阪方面から一番近いかも？ ・位置が良いので大阪・高野・田辺・本宮等どこへも同じくらいで行きやすい。 ・龍神村は和歌山県のヘソである。 ・全ての道は龍神村に通じる。 ・水・空気がおいしい。 ・愛殿会「殿原を愛する会」が活発に活動している！ ・合併前同様地域づくりに各々以前より頑張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館長がよく活動している。女性を増やしても、2人しかない。 ・活動については不満ありません。色々な分野で頑張ってくれています。 ・分館長がまじめでよく頑張ってくれている。 ・各地で盆踊りなど地域で頑張ってる。 ・盆踊りが復活して10年。みんなが楽しんでやっている。 ・ゴムボール野球等子供～大人までが1日楽しめるイベントがある。 ・地域の歴史散策等文化的な活動も行っている。 ・有志で夜桜のライトアップをして評判が良かった。

地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
F班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが少ない。(特に市営住宅の方々の地域参加が少ない) ・子供たちのあいさつがいまいちである。 ・近所づきあいが薄くなった。 ・高齢者との話し合う場がない。 ・職場がない。 ・若者の働く場所がない。 ・統合された後の学校の問題。 ・労働力になる若者が少ない。 ・子供が少ない。 ・学生が少ない。 ・高齢者が多い。 ・人口の減少。 ・キャンプ場の運営も高齢化。 ・高齢化による農業の衰退。 ・限界集落に近づきつつある。 ・祭典等で若者減少により運営が難しい。 ・祭りなどの後継者問題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室利用が有料。 ・予算の問題。 ・住民の利用率が低い。 ・分館の仕事役割が住民に見えにくい。 ・出張講座の利用度はどんなものなのか？ ・活動がなかなか見えてこない。 ・利用制限が不明。 ・実力ある分館長に続く後継者。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やす。 ・教育の強化。(大人も) ・地域の声を優先して利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力あるサービス。 ・宣伝強化。 ・教育の強化。
地域の特徴・自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のパワーがすごい。 ・子供や若者が良く通って活気有り。(学校が多いので) ・保育所があり子供の声が聞ける。 ・何でも話し合えるグループがある。 ・いざという時は地域の人たちが協力できる。 ・学校教育に協力的。 ・三世代交流等で学社融合が進められている。 ・オートキャンプ場の運営を地域で行っている。 ・地域文化祭を開いている。 ・ここ10年盆踊りを復活させ継続している。 ・緑がたくさんある。 ・泳げる川がある。 ・川釣りが楽しめる。 ・イノシシ、シカが獲れる。 ・きれいな星空。 ・花いっぱい運動によりきれいである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮代文化祭。 ・各分野の活動が思い通りに行われること。 ・村全体コミュニケーションが取れる。 ・仕事とはいえ職員一同気持ちよく協力してくれる。 ・子供たちの安全を守ることを基本。 ・住民との1対1の対応。(きめ細かいサービス) ・合併後も結婚式を続けてくれること。 ・高い所にある。 ・頑丈な鉄筋コンクリート造。

地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
G班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が少ない。 ・次の代と同居が難しい。 ・地域が高齢化してきている。 ・少子化で子供が少なくてさみしいです。 ・小学校中学校がなくなった。 ・お年寄りだけの家が多い。 ・広域のため行事等参加への移動が大変。 ・地域行事の後継者難。 ・地域によって携帯電話、インターネットの通信が不便な場所がある。 ・門先でのご近所同士の立ち話がだんだん少なくなってきた。 ・婦人会、宮代学級、父母クラブなど各世代に応じた活動が行われています。 ・小学校が統合のためなくなる。（＝地域の運動会がなくなる） ・廃校の後、学校施設をどう活用するか。 ・統合後の学校の活用。 ・道路が良くなった反面、交通量の増加により危険な場所ができた。 ・バスの運行。（不便になったのではないか） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動によっては高齢化の傾向。 ・村内放送の回数が少ない、自由にできない。 ・高齢者の村外活動でも車の車の借り上げができない。 ・公民館の位置づけがどういうものなのか理解されていない。 ・公民館活動にあまり参加できていない。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村の青年団との交流を深める。 ・働く場の確保。 ・市営住宅を増やしてほしい。 ・地域行事などは区民全員が参加できる日時等に調整し、世代を超えた交流ができるようにしていきたい。その中で伝統や行事文化なども守られるのではないかと、各家庭でも日々生活の中でありがたいことを子供たちに知らせていきたい。 ・年代問わずお互いに交流する場が持てるよう、働きかけ合う努力をする。 ・統合後の跡地がそういう折に積極的に利用できれば良いと思います。 ・しっかり使ってもらおう。 ・小学校が廃校になっても年に1度運動会のようなイベントをする。 ・統合後の施設活用について話し合う場づくり。 ・公民館のスポーツ教室を体育館で行う。 ・大学、一般のサークル等の合宿に安く貸し出してみては？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動に住民自身で進んで参加していきたい。 ・生涯学習、生活に必要な学習の場を。 ・広域な地域においては公民館活動等へのマイクロバス送迎の確保。
地域の特色・自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か。（温泉、川、山、人情） ・自然資源が豊か。 ・温泉を中心に自然がたくさんある。 ・地域で何かをしようとする時の協力体制が整っている。 ・国道425号の道路の整備が進み、交通の便が良くなる。 ・年1回の荒嶋神社の祭典。（始まってから終了までがとても長い PM1:00～10:00） ・文化的資源豊富。 ・一斉美化運動への全員参加。 ・福井は、他の地区と比べて子供の数が多い。 ・宮代という地名からも分かるようにお宮さんが多く、お宮さんの祭りなのか餅まきが多い。 ・最近よく宮代小学校のことが紀伊民報に出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の人が利用できる。 ・公民館活動の時は年寄りの人には大変親切にしてくれる。 ・サークル活動、スポーツ活動等が活発。 ・活発な分館活動。（登下校の見守りなど学校への協力） ・宮代独自の活動としては本年度10月に宮代文化祭が行われます。昨年もあり、好評でした。 ・入って行きやすい。 ・公民館だよりを全部読んでいるか反省している。 ・文化施設。（市民センター充実している。管理人の配置もあり）

地域シンポジウム報告書（班別）

龍神地域シンポジウム
H班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のコミュニティの欠如。 ・一人暮らしの増加。 ・後継者問題。 ・少子化、過疎化の進行が早く歯止めがかからない。 ・農業基盤。(農地が少ないため) ・地域社会の教育力の低下。 ・子育て問題。 ・家庭の教育力の低下。 ・若者へのバトンタッチ。(リーダー育成) ・空き家、田、畑、一人暮らし。 ・後継者問題。(子供達が村外に出ている家が多い) ・地域格差。(旧田辺と合併された地域) ・観光関係での世界遺産の力関係。 ・地方税アップ。 ・働く人探しに苦労している。(働く人が少ない) ・集落環境。(空き家、小集落の中で不便な事が拡大している) ・災害時の対応。 ・日高川の利用向上。 ・日高川が魚の住める川に。 ・限界集落の増加。 ・高齢者・障害者の交通手段。 ・少子化の進行。 ・地域内の移動について。 ・小家地区は、田辺中心への公共機関を使用するのアクセスが悪い。 ・自家用車なしで龍神地域内に住むことはすごく不便だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併後の公民館活動。 ・各サークル等の横のつながりを強化。 ・一般的に公民館、社会教育との分野と役割が明確でない。 ・生涯学習の推進のあり方。 ・生涯学習の趣旨がいきわたっていない。 ・どのような場面で公民館を利用したらよいかよく分からない。 ・行事への参加人数の減少。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の再編。 ・集落再編の協議は？ ・若者グループの育成。 ・各企業・団体、若い現場人の交流。 ・高齢者、障害者を対象にしたコミュニティバスの運行。 ・コミュニティバスの運行。 ・田辺市内を通る小型バスの運行を試みる。 ・田辺市に合併するまでは「花いっぱい活動」等大変盛んだったが、その後、荒れずさんでいる。何とかならないか。 ・日高川の魚が多くなる環境づくり。 ・Iターンとか産業。 ・働ける場所を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に利用できて便利な事柄をPRする。 ・生涯学習の振興による地域力の復元。 ・課題をかせるのは分かるが地域性大。 ・若い人の意見を聞く場をつくる。
地域の特色・自慢	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉が良い。 ・日本三美人の湯、龍神温泉。 ・自然がいっぱいで都会の人に自慢できる。 ・川がきれい。 ・水がおいしい。 ・周辺地域と比較して自然が多く残っていて、四季を感じる事ができる。 ・地元の人どうしのつながりが強く、地域で協力し合える。 ・人情豊かである。 ・地域の協力できる力。 ・芸術家のIターンの方々が大勢来てくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧村当時、生涯学習の機会の場の提供が多かった。 ・旧村当時、事業のメニューが多かった。 ・熱意、気配り。 ・分館活動に尽力してくれている。 ・地域に対する理解姿勢。 ・昔ながらの行事が残っている。 ・施設が新しい。